

トヨタ紡織、「人とくるまのテクノロジー展2014」に出展 ～トヨタ紡織の高い技術開発力を幅広くアピール～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：豊田周平）は、5月21日（水）から23日（金）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2014」に出展します。

会場では、トヨタ紡織の新たな取り組みとして開発した環境負荷軽減に寄与するエンジン部品「クランクケースベンチレーション用オイルミストセパレーター」をはじめ、株式会社豊田中央研究所と共同開発した世界トップクラスの衝撃強度を有するバイオプラスチックアロイ技術、トヨタ紡織のコア技術である高精度高速プレス技術を用いたモーターコア、精密加工技術による匠の技などを紹介します。

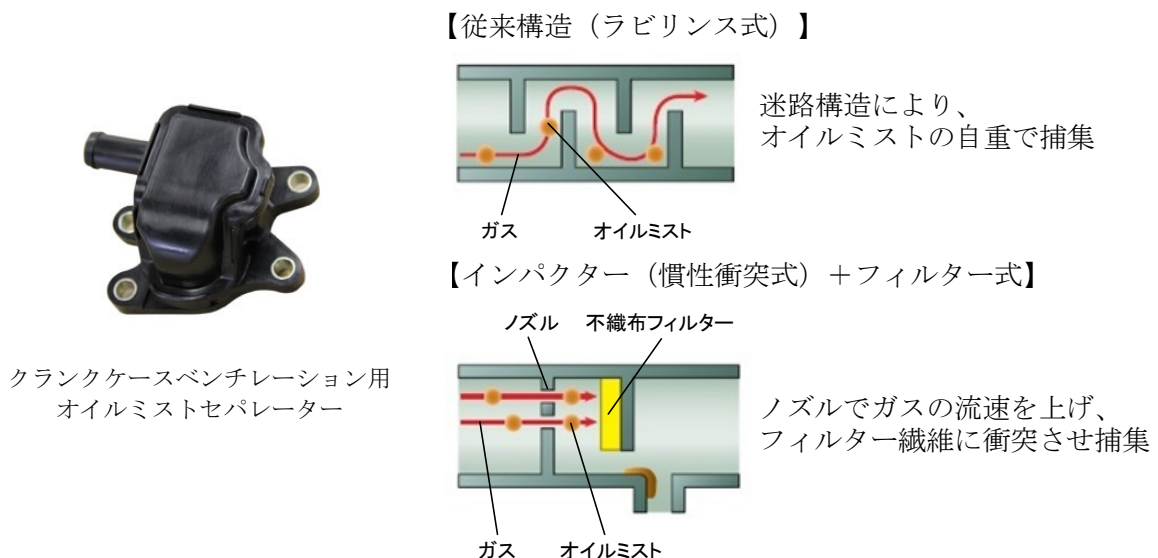
トヨタ紡織は、あらゆる顧客ニーズに対応できる独自の技術開発力を一層向上させ、より魅力的で快適、安全な移動空間を世界中のお客様に提供していきます。

1. 主な展示品

(1) クランクケースベンチレーション用オイルミストセパレーター 【初出展】

エンジン燃焼室内で空気と燃料を燃焼させる際に発生する未燃焼ガスなどに含まれる、小粒径オイルミストを捕集する高性能小型オイルミストセパレーターを初めて開発しました。

近年、低燃費車両に採用されている小型ターボエンジンやディーゼルエンジンは、ガソリンエンジンと比較して燃焼圧力が高いため、オイルミストの粒径が小さくなります。今回開発したオイルミストセパレーターは、インパクター（慣性衝突式）＋フィルター式で、慣性衝突と不織布フィルターを用いてガスと小粒径オイルミストを分離します。これにより、エンジン内部のオイルミスト付着を抑制し、エンジン性能維持と燃費向上に寄与します。また、小型設計により省スペース化と軽量化にも貢献します。



- (2) 世界トップクラスの衝撃強度を有し、自動車部品におけるバイオプラスチック適用範囲の飛躍的な拡大を可能にする、バイオプラスチックアロイ技術

人とくるまのテクノロジー展2014と合わせて開催される学術講演会にて、
当社のバイオプラスチックアロイ開発担当者が講演予定

- ①講演日：2014年5月21日（水）
②講演者：鬼頭雅征

- (3) 高精度高速プレス技術を用いたハイブリッドシステム用モーターコア構成部品、
精密加工技術による匠の技
(4) 自動車シート開発の知見を生かし、新規事業参入を果たした鉄道車両用シート
(5) GAZOO Racing GRMN 86 Concept[※]搭載シート【参考出展】

2. 出展場所

ブース番号：219

※ GAZOO Racing が東京オートサロン2014で出展したコンセプトカー

以上